

## モルガン・スタンレー、2025 年度第 3 四半期決算を発表

純収益は 182 億ドル、1 株当たり利益は 2.80 ドル、有形普通株主資本利益率は 23.5%

[ニューヨーク、2025 年 10 月 15 日] モルガン・スタンレー (NYSE: MS、以下、「モルガン・スタンレー」または「当社」) は本日、2025 年 9 月 30 日をもって終了した第 3 四半期の純収益が前年同期の 154 億ドルに対し、182 億ドルになったと発表しました。モルガン・スタンレーに帰属する純利益は 46 億ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 2.80 ドル<sup>1</sup>であり、これに対し、前年同期のモルガン・スタンレーに帰属する純利益は 32 億ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 1.88 ドル<sup>1</sup>でした。

会長兼最高経営責任者(CEO)であるテッド・ピックは次のように述べています。「我々の Integrated Firm(事業が一括して統合された企業)は、世界の各事業部門において力強い業績を示し、極めて優れた四半期業績を達成しました。当社の戦略を一貫して遂行した結果、純収益は過去最高の 182 億ドル、1 株当たり利益は 2.80 ドル、有形普通株主資本利益率は 23.5% を記録しました。ウェルス・マネジメント業務は、税引前利益率 30% を報告するとともに、純新規資産は 810 億ドルとなりました。法人・機関投資家向け証券業務は、株式業務の好調および投資銀行業務の回復に牽引されました。ウェルス・マネジメント業務と投資運用業務の総顧客資産は 8.9 兆ドルに達しました。当社は、世界各地での事業展開を通じて持続的な成長の実現に取り組み、株主に長期的な価値を提供することに注力しています。」

### 業績の概要<sup>2,3</sup>

全社 (単位: 1 株当たりの数値を除き 百万ドル)	2025 年度 第 3 四半期	2024 年度 第 3 四半期
純収益	\$ 18,224	\$ 15,383
信用損失引当金繰入額	\$ 0	\$ 79
人件費	\$ 7,442	\$ 6,733
人件費以外の費用	\$ 4,754	\$ 4,350
税引前利益 <sup>6</sup>	\$ 6,028	\$ 4,221
MS に帰属する純利益	\$ 4,610	\$ 3,188
費用効率性比率 <sup>8</sup>	67%	72%
希薄化後 1 株当たり利益 <sup>1</sup>	\$ 2.80	\$ 1.88
1 株当たり純資産	\$ 62.98	\$ 58.25
1 株当たり有形純資産 <sup>4</sup>	\$ 48.64	\$ 43.76
株主資本利益率	18.0%	13.1%
有形普通株主資本利益率 <sup>4</sup>	23.5%	17.5%
<b>法人・機関投資家向け証券業務</b>		
純収益	\$ 8,523	\$ 6,815
投資銀行業務	\$ 2,108	\$ 1,463
株式	\$ 4,116	\$ 3,045
債券	\$ 2,169	\$ 2,003
<b>ウェルス・マネジメント業務</b>		
純収益	\$ 8,234	\$ 7,270
手数料ベースの顧客資産 (十億ドル) <sup>9</sup>	\$ 2,653	\$ 2,302
手数料ベース資産の流出入 (十億ドル) <sup>10</sup>	\$ 41.9	\$ 35.7
純新規資産 (十億ドル) <sup>11</sup>	\$ 81.0	\$ 63.9
ローン (十億ドル)	\$ 173.9	\$ 155.2
<b>投資運用業務</b>		
純収益	\$ 1,651	\$ 1,455
AUM (十億ドル) <sup>12</sup>	\$ 1,807	\$ 1,598
長期純資金流入額 (十億ドル) <sup>13</sup>	\$ 16.5	\$ 7.3

### 業績のハイライト

- 第 3 四半期の純収益は過去最高の 182 億ドルとなり、Integrated Firm としての強さを示し、すべての事業部門と地域が力強く貢献しました。
- 全社の有形普通株主資本利益率は 23.5% となりました<sup>2,4</sup>。
- 当四半期累計期間の費用効率性比率は 69% と、建設的な市場環境の下で営業レバレッジを発揮しました<sup>3,8,19</sup>。
- 普通株式等 Tier 1 自己資本比率(標準的手法)は 15.2% となりました<sup>16</sup>。
- 法人・機関投資家向け証券業務の純収益 85 億ドルは、株式業務の力強い業績と投資銀行業務の回復を反映しています。
- ウェルス・マネジメント業務の当四半期の税引前利益率は 30.3% となりました<sup>7</sup>。過去最高となる 82 億ドルの純収益は、資産運用収益の過去最高更新、顧客活動の活発化、純利息収益の増加を反映しています。同業務は引き続き成長し、当四半期における純新規資産は 810 億ドル、手数料ベースの資産流入額は 420 億ドルとなりました<sup>10,11</sup>。
- 投資運用業務の業績は、純収益が 17 億ドルとなり、主に平均運用・管理資産(AUM)の増加を背景として資産運用手数料の増加が寄与しました。当四半期の長期純資金流入額は 165 億ドルとなりました<sup>13</sup>。

## 2025 年度第 3 四半期の業績

### 法人・機関投資家向け証券業務

法人・機関投資家向け証券業務の当四半期の純収益は、前年同期の 68 億ドルに対し、85 億ドルとなりました。税引前利益<sup>6</sup>は、前年同期の 19 億ドルに対し、32 億ドルとなりました。

#### **投資銀行業務の純収益は、44%増加：**

- アドバイザリー業務の収益は、完了ベースの M&A 取扱高の増加を受けて、前年同期比で増収となりました。
- 株式引受業務の収益は、より建設的な市場環境の下で顧客が資金調達の機会を活発に取り込むなか、IPO と転換社債の発行増を受けて前年同期比で増加しました。
- 債券引受業務の収益は、より良好な資金調達環境を反映した非投資適格および投資適格のローンの発行増を背景に、前年同期比で増加しました。

#### **株式業務の純収益は、35%増加：**

- 株式の純収益は、活発な顧客活動を背景とするすべての事業部門と地域における前年同期比での増収を反映しており、特にプライム・ブローカレッジ業務が過去最高の業績を計上しました。

#### **債券業務の純収益は、8%増加：**

- 債券の純収益は、外国為替商品の減収で一部相殺されたものの、クレジット商品における顧客活動の活発化と融資の増加、ならびにコモディティ商品における仕組取引の増加を主因として、前年同期比で増加しました。

#### **その他：**

- その他の収益は、売却目的で保有していた企業向けローンの当年度前半における売却を受けた純利息収益と手数料の減少、ならびにヘッジを含む企業向けローンの時価評価損の小幅な増加を主因として、前年同期比で減少しました。

#### **信用損失引当金繰入額：**

- 信用損失引当金繰入額は、前年同期比で減少しました。これは主に、当四半期におけるマクロ経済シナリオの改善による効果の拡大、ならびにポートフォリオ拡大に関連する引当金繰入額が減少したことによります。

#### **総費用：**

- 人件費は、主に繰延報酬関連の費用と給与の増加を背景に前年同期比で増加しました。
- 人件費以外の費用は、執行関連費用の増加を主因として、前年同期比で増加しました。

(単位：百万ドル)	<b>2025 年度 第 3 四半期</b>	<b>2024 年度 第 3 四半期</b>
<b>純収益</b>	\$ 8,523	\$ 6,815
<b>投資銀行業務</b>	\$ 2,108	\$ 1,463
アドバイザリー	\$ 684	\$ 546
株式引受	\$ 652	\$ 362
債券引受	\$ 772	\$ 555
<b>株式</b>	\$ 4,116	\$ 3,045
<b>債券</b>	\$ 2,169	\$ 2,003
<b>その他</b>	\$ 130	\$ 304
<b>信用損失引当金繰入額</b>	\$ 1	\$ 68
<b>総費用</b>	\$ 5,340	\$ 4,836
人件費	\$ 2,422	\$ 2,271
人件費以外の費用	\$ 2,918	\$ 2,565

## ウェルス・マネジメント業務

ウェルス・マネジメント業務の当四半期の純収益は、前年同期の 73 億ドルに対し、82 億ドルとなりました。税引前利益は 25 億ドルとなり、税引前利益率は 30.3% でした<sup>6-7</sup>。

### **純収益は、13%増加:**

- 資産運用手数料収益は、資産水準の上昇と良好な手数料ベースの資産流入による累積的な影響を反映して、前年同期から増加しました<sup>10</sup>。
- 取引収益は、DCP(繰延現金報酬制度)に関する投資の時価評価の影響を除くと、前年同期から 22% 増加しました<sup>5、14</sup>。顧客取引が全般的に活発化したことを主因としています。
- 純利息収益は、バランスシート構成の変化と融資の伸びによる累積的な影響を主因として、前年同期から増加しました。

### **総費用:**

- 人件費は、報酬対象となる収益の増加を要因として、前年同期から増加しました。
- 人件費以外の費用は、前年同期比でほぼ横ばいでした。

(単位: 百万ドル)	2025 年度		2024 年度	
	第 3 四半期	第 3 四半期	第 3 四半期	第 3 四半期
純収益	\$ 8,234		\$ 7,270	
資産運用手数料収益	\$ 4,789		\$ 4,266	
取引収益 <sup>14</sup>	\$ 1,308		\$ 1,076	
純利息収益	\$ 1,991		\$ 1,774	
その他	\$ 146		\$ 154	
信用損失引当金繰入額	\$ (1)		\$ 11	
総費用	\$ 5,736		\$ 5,199	
人件費	\$ 4,388		\$ 3,868	
人件費以外の費用	\$ 1,348		\$ 1,331	

## 投資運用業務

投資運用業務の純収益は前年同期の 15 億ドルに対し、17 億ドルでした。税引前利益は、前年同期の 260 百万ドルに対し、364 百万ドルとなりました<sup>6</sup>。

### **純収益は、13%増加:**

- 資産運用および関連手数料収益は、平均 AUM の増加を受け、前年同期から増加しました。
- 実績収益およびその他収益は、成功報酬の増加を要因として、前年同期から増加しました。

### **総費用:**

- 人件費は、成功報酬に関連する報酬を主因として、前年同期から増加しました。
- 人件費以外の費用は、平均 AUM の増加による販売費用の増加を主因として、前年同期から増加しました。

(単位: 百万ドル)	2025 年度		2024 年度	
	第 3 四半期	第 3 四半期	第 3 四半期	第 3 四半期
純収益	\$ 1,651		\$ 1,455	
資産運用および関連手数料収益	\$ 1,534		\$ 1,384	
実績収益およびその他	\$ 117		\$ 71	
総費用	\$ 1,287		\$ 1,195	
人件費	\$ 632		\$ 594	
人件費以外の費用	\$ 655		\$ 601	

## その他の事項

- 当社は当四半期に、自社株買いプログラムの一環として流通普通株式を 11 億ドル買い戻しました。
- 取締役会は、1 株当たり 1.00 ドルの四半期配当を宣言しました。配当は 2025 年 10 月 31 日現在の株主名簿上の普通株主に対し、2025 年 11 月 14 日付けで支払われます。
- 当四半期の実効税率は、22.8% でした。
- 当社の標準的手法による普通株式等 Tier1 自己資本比率は 15.2% でした<sup>16</sup>。2025 年 9 月 30 日に米連邦準備制度理事会は、2025 年 6 月に発表された暫定的なストレス資本バッファー(SCB)の再考をモルガン・スタンレーが要請したことを受け、当社の SCB を 2025 年 10 月 1 日付けで 5.1% から 4.3% へ引き下げる発表しました。規制自己資本の枠組みにおける他の要素も合わせると、この SCB により、最終的な米国バーゼル III の標準的手法による普通株式等 Tier1 比率は 11.8% となります。

	2025 年度 第 3 四半期	2024 年度 第 3 四半期
<b>普通株式買戻し</b>		
買戻額(百万ドル)	\$ 1,085	\$ 750
株式数(百万株)	7	8
平均株価	\$ 145.77	\$ 99.94
期末株式数(百万株)	1,591	1,612
税率	22.8%	23.6%
<b>自己資本<sup>15</sup></b>		
標準的手法		
普通株式等 Tier 1 自己資本比率 <sup>16</sup>	15.2%	15.1%
Tier 1 自己資本比率 <sup>16</sup>	17.0%	17.1%
先進的手法		
普通株式等 Tier 1 自己資本比率 <sup>16</sup>	15.7%	14.9%
Tier 1 自己資本比率 <sup>16</sup>	17.6%	16.9%
レバレッジ・ベース自己資本		
Tier 1 レバレッジ比率 <sup>17</sup>	6.8%	6.9%
補完的レバレッジ比率 <sup>18</sup>	5.5%	5.5%

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、ウェルス・マネジメント、投資運用事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業です。世界 42 カ国 のオフィスを通じて、当社の従業員は法人、政府、機関投資家、個人にサービスを提供しています。モルガン・スタンレーに関する詳細については [www.morganstanley.com](http://www.morganstanley.com) をご参照ください。

決算概要については添付資料を参照。財務、統計、事業関連の追加情報、事業およびセグメント動向は補足財務情報(Financial Supplement)に掲載しています。決算リリースと補足財務情報はモルガン・スタンレーのウェブサイト([www.morganstanley.com](http://www.morganstanley.com))の Investor Relations のセクションでも公開しています。

# # #

注:

このプレス・リリースおよび補足財務情報で提供する情報(当社の決算電話会議で提供する情報を含む)は一定の非 GAAP 財務指標を含んでいる場合があります。同指標の定義または同指標から比較可能な米国 GAAP による数値への調整は本決算リリースと補足財務情報に掲載しており、いずれも [www.morganstanley.com](http://www.morganstanley.com) で公開しています。

本決算リリースには一定の財務等の目標や目的の達成を含む予想的見解が含まれる場合があります。予想的見解は、資料作成時の経営者の見積り、予想、期待、仮定、解釈または確信を反映したものであり、実際の結果と大きく異なるリスクおよび不確実性が存在するため、読者は予想的見解を過度に信用すべきではありません。当社の将来の業績に影響を与えるリスクおよび不確実性に関しては、2024 年 12 月 31 日をもって終了した年度に係る当社の様式 10-K による年次報告書の第 1 部、第 1 項の直前に記載されている「予想的見解」の項、第 1 部、第 1 項に記載されている「競争」および「監督および規制」の項、第 1 部、第 1A 項に記載されている「リスク要因」の項、第 1 部、第 3 項に記載されている「訴訟」の項、第 2 部、第 7 項に記載されている「財政状態および経営成績に関する経営者の検討および分析」の項、および第 2 部、第 7A 項に記載されている「リスクに関する定量的および定性的情報の開示」の項、ならびに、様式 10-K に記載されている他の項目、当社の様式 10-Q による四半期報告書および当社の様式 8-K による臨時報告書(これらの訂正報告書を含む)をご参照ください。

<sup>1</sup> 1 株当たり利益の計算に関連して、2025 年度第 3 四半期および 2024 年度第 3 四半期はそれぞれ約 160 百万ドルおよび約 160 百万ドルの優先配当を含んでいた。

<sup>2</sup> 当社は米国において一般に公正妥当と認められる会計原則(「米国 GAAP」)を用いて連結財務諸表を作成している。モルガン・スタンレーは、決算発表、決算電話会議、財務情報の表示などで一定の「非 GAAP 財務指標」を開示する場合がある。証券取引委員会(SEC)は「非 GAAP 貢務指標」を米国 GAAP に準拠して算出、表示された最も直接的に比較可能な指標に対して金額が実質的に除外または算入調整された、過去または将来の経営成績、財政状態、またはキャッシュ・フローの数値尺度と定義している。モルガン・スタンレーが公表している非 GAAP 貢務指標は、その財政状態、経営成績、または自己資本比率の透明性を高めるため、またその評価を行う代替的な方法をアーリスト、投資家、その他利害関係者に提供する追加情報として提示されている。こうした指標は米国 GAAP に準拠しておらず、米国 GAAP に置き換わるものではなく、他社が利用している非 GAAP 貢務指標とは異なるか、整合しない場合がある。当社が非 GAAP 貢務指標に言及する際には常に、一般的にそれについて定義するか、米国 GAAP に準拠して算出、表示される最も直接的に比較可能な財務指標を提示するとともに、当社が言及する非 GAAP 貢務指標と比較可能な米国 GAAP 貢務指標との差異の調整も提示する。

<sup>3</sup> 当社の決算発表、決算電話会議、財務情報の表示その他コミュニケーションは、当社の財政状態および経営成績に関する一段の透明性、またはこれを評価する追加手段を提供することで、当社、アーリスト、投資家、その他利害関係者にとって有用であると当社が判断している一定の数値尺度を含む場合がある。

<sup>4</sup> 有形普通株主資本は、アーリスト、投資家、その他利害関係者が期間ごとの業績と自己資本比率をより良く比較するために有用であると当社が判断している非 GAAP 貢務指標である。有形普通株主資本は、普通株主資本からのれんおよび無形資産(算入が認められるモーゲージ・サービシング権を控除後)を差し引いたものである。同様に非 GAAP 貢務指標である平均有形普通株主資本利益率は、モルガン・スタンレーに帰属する通期または年換算した純利益から優先株式配当を差し引いた数値の平均有形普通株主資本に対する比率である。同様に非 GAAP 貢務指標である普通株式 1 株当たり有形純資産は、有形普通株主資本を流通普通株式数で除したものである。

<sup>5</sup> 「DCP」は一部の従業員繰延現金報酬制度を意味する。当社の 2024 年 12 月 31 日をもって終了した年度に係る様式 10-K による年次報告書の「財政状態および経営成績に関する経営者の検討および分析—その他の事項—繰延現金報酬」を参照されたい。

<sup>6</sup> 税引前利益は、法人所得税計上前利益を表している。

<sup>7</sup> 税引前利益率は、法人所得税計上前利益を純収益で除したものである。

<sup>8</sup> 費用効率性比率は、純収益に対する非金利費用の比率である。

<sup>9</sup> ウエルス・マネジメント業務の手数料ベース顧客資産とは、サービスに対する支払いの根拠が顧客資産をベースに計算される手数料である顧客口座の資産額である。

<sup>10</sup> ウエルス・マネジメント業務の手数料ベースの資産流入額は、純新規手数料ベース資産(資産の取得を含む)、正味の口座振替、配当、金利、顧客手数料を含み、法人・機関投資家の資金管理関連の業務を除外する。

<sup>11</sup> ウエルス・マネジメント業務の純新規資産とは、金利および配当ならびに資産の取得を含む顧客の資産流入額から顧客の資産流出額を差し引き、企業結合/事業分離による影響ならびに手数料の影響を除外したものである。

<sup>12</sup> AUM は、asset under management(運用・管理資産)と定義される。

<sup>13</sup> 長期純流出入額は、株式、債券、ならびにオルタナティブおよびソリューションの資産クラスを含み、流動性およびオーバーレイ・サービス資産クラスを除外する。

<sup>14</sup> 取引収益は、投資銀行業務、トレーディングおよび手数料収益を含む。

<sup>15</sup> 自己資本比率は、本決算リリースの発行日(2025 年 10 月 15 日)現在の推定値である。

<sup>16</sup> CET1 自己資本は普通株式等 Tier1 自己資本と定義される。当社のリスク・ベース自己資本比率は、(i) 信用リスクのリスク加重資産(「RWA」)および市場リスクの RWA を算出する標準的手法(「標準的手法」)、ならびに、(ii) 信用リスクの RWA、市場リスクの RWA、およびオペレーション・リスクの RWA を算出するために適用可能な先進的手法(「先進的手法」)に基づき算出される。規制上の自己資本と比率の算出、および関連する規制上の要求事項に関する情報については、当社の 2024 年 12 月 31 日をもって終了した年度に係る様式 10-K による年次報告書の「経営者による財政状態および経営成績の検討および分析—流動性および資本の源泉—規制上の要求事項」を参照されたい。

<sup>17</sup> Tier1レバレッジ比率はレバレッジ・ベースの所要自己資本比率で、当社のレバレッジを測定する。Tier1 レバレッジ比率は分子に Tier1 自己資本を、分母に平均調整後資産を用いる。

<sup>18</sup> 当社の 2025 年度第 3 四半期および 2024 年度第 3 四半期の補完的レバレッジ比率(SLR)は、分子に Tier1 自己資本(それぞれ約 909 億ドルおよび約 837 億ドル)を用い、分母は補完的レバレッジ・エクスポートージャー(それぞれ約 1.66 兆ドルおよび約 1.52 兆ドル)を用いている。

<sup>19</sup> 2025 年度第 1 四半期において、3 月の従業員関連措置の結果、人員削減に関連する退職費用 144 百万ドルを人件費に認識した。この人員削減は当社の全ての事業セグメントと地域で行われ、当時の当社の世界の従業員の約 2%に影響を与えた。この人員削減は、業績管理および当社の事業ニーズに見合う人員配置に関連するものであり、戦略変更や事業の撤退を受けたものではない。2025 年度第 1 四半期に法人・機関投資家向け証券事業セグメントで 78 百万ドル、ウェルス・マネジメント事業セグメントで 50 百万ドル、投資運用事業セグメントで 16 百万ドルの退職費用を計上した。これらの費用はすべての地域で発生しており、大半は米州においてであった。

**モルガン・スタンレー**

**連結損益計算書情報**

(無監査、単位:百万ドル)

	四半期			増減率		9か月間			増減率
	2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間		
<b>収益:</b>									
投資銀行業務	\$ 2,266	\$ 1,644	\$ 1,590	38%	43%	\$ 5,621	\$ 4,914	14%	
トレーディング	5,020	4,745	4,002	6%	25%	14,876	12,985	15%	
投資	374	388	315	(4%)	19%	1,131	609	86%	
委託手数料	1,473	1,425	1,294	3%	14%	4,379	3,704	18%	
資産運用業務	6,441	5,953	5,747	8%	12%	18,357	16,440	12%	
その他	159	290	239	(45%)	(33%)	1,200	827	45%	
非金利収益合計	15,733	14,445	13,187	9%	19%	45,564	39,479	15%	
受取利息	15,456	14,905	14,185	4%	9%	44,109	40,644	9%	
支払利息	12,965	12,558	11,989	3%	8%	36,918	34,585	7%	
純利息	2,491	2,347	2,196	6%	13%	7,191	6,059	19%	
純収益	18,224	16,792	15,383	9%	18%	52,755	45,538	16%	
信用損失引当金繰入額	-	196	79	*	*	331	149	122%	
非金利費用:									
人件費	7,442	7,190	6,733	4%	11%	22,153	19,889	11%	
人件費以外の費用:									
仲介、決済および取引手数料	1,141	1,188	1,044	(4%)	9%	3,551	2,960	20%	
情報処理および通信費	1,119	1,089	1,042	3%	7%	3,258	3,029	8%	
専門家役務報酬	685	711	711	(4%)	(4%)	2,070	2,103	(2%)	
事務所設備関連費用	473	459	473	3%	-%	1,381	1,378	-%	
マーケティングおよび事業開拓費	280	297	224	(6%)	25%	815	686	19%	
その他	1,056	1,040	856	2%	23%	3,002	2,654	13%	
人件費以外の費用合計	4,754	4,784	4,350	(1%)	9%	14,077	12,810	10%	
非金利費用合計	12,196	11,974	11,083	2%	10%	36,230	32,699	11%	
法人所得税計上前利益	6,028	4,622	4,221	30%	43%	16,194	12,690	28%	
法人所得税費用	1,373	1,047	995	31%	38%	3,593	2,885	25%	
純利益	\$ 4,655	\$ 3,575	\$ 3,226	30%	44%	\$ 12,601	\$ 9,805	29%	
非支配持分に帰属する純利益	45	36	38	25%	18%	137	129	6%	
モルガン・スタンレーに帰属する純利益	4,610	3,539	3,188	30%	45%	12,464	9,676	29%	
優先株式配当	160	147	160	9%	-%	465	440	6%	
モルガン・スタンレーの普通株主に帰属する利益	\$ 4,450	\$ 3,392	\$ 3,028	31%	47%	\$ 11,999	\$ 9,236	30%	

注:

—継延現金報酬制度（以下「DCP」という。）に係る時価評価損益を除く全社の純収益は、非GAAP財務指標であり、2025年度第3四半期：17,976百万ドル、2025年度第2四半期：16,415百万ドル、2024年度第3四半期：15,144百万ドル、2025年9月30日をもって終了した9か月間：52,279百万ドル、2024年9月30日をもって終了した9か月間：45,166百万ドルであった。

—DCPを除く全社の報酬費用は、非GAAP財務指標であり、2025年度第3四半期：7,142百万ドル、2025年度第2四半期：6,819百万ドル、2024年度第3四半期：6,457百万ドル、2025年9月30日をもって終了した9か月間：21,484百万ドル、2024年9月30日をもって終了した9か月間：19,309百万ドルであった。

—後注は本情報の不可欠な一部である。米国GAAP指標と非GAAP指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、補足財務情報の12-17ページを参照。

**モルガン・スタンレー**  
**連結財務指標および比率ならびに統計データ**  
**(無監査)**

四半期			増減率		9か月間		
2025年 9月30日	2025年 6月30日	2024年 9月30日	増減率		2025年 9月30日	2024年 9月30日	
をもって 終了した 四半期	をもって 終了した 四半期	をもって 終了した 四半期	からの 増減率	からの 増減率	をもって 終了した 9か月間	をもって 終了した 9か月間	増減率

**財務指標:**

基本的1株当たり利益	\$ 2.83	\$ 2.15	\$ 1.91	32%	48%	\$ 7.61	\$ 5.79	31%
希薄化後1株当たり利益	\$ 2.80	\$ 2.13	\$ 1.88	31%	49%	\$ 7.53	\$ 5.73	31%
平均普通株主資本利益率	18.0%	13.9%	13.1%			16.5%	13.5%	
平均有形普通株主資本利益率	23.5%	18.2%	17.5%			21.6%	18.2%	
普通株式1株当たり純資産	\$ 62.98	\$ 61.59	\$ 58.25			\$ 62.98	\$ 58.25	
普通株式1株当たり有形純資産	\$ 48.64	\$ 47.25	\$ 43.76			\$ 48.64	\$ 43.76	

**財務比率:**

税引前利益率	33%	28%	27%		31%	28%
純収益に占める人件費の比率	41%	43%	44%		42%	44%
純収益に占める人件費以外の費用の比率	26%	28%	28%		27%	28%
全社の費用効率性比率	67%	71%	72%		69%	72%
実効税率	22.8%	22.7%	23.6%		22.2%	22.7%

**統計データ:**

期末流通普通株式数(単位:百万株)	1,591	1,598	1,612	-%	(1%)		
平均流通普通株式数(単位:百万株)							
基本的	1,571	1,577	1,588	-%	(1%)	1,577	1,594 (1%)
希薄化後	1,590	1,593	1,609	-%	(1%)	1,594	1,612 (1%)
全世界従業員数	82,398	80,393	80,205	2%	3%		

後注は本情報の不可欠な一部である。米国GAAP指標と非GAAP指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、補足財務情報の12-17ページを参照。

モルガン・スタンレー  
2025年度第3四半期決算

四半期補足財務情報	ページ
連結財務概要	1
連結財務指標および比率ならびに統計データ	2
連結ベースおよび米国銀行の補足財務情報	3
連結平均普通株主資本および規制自己資本に関する情報	4
法人・機関投資家向け証券業務 損益計算書情報、財務指標および比率	5
ウェルス・マネジメント業務 損益計算書情報、財務指標および比率	6
ウェルス・マネジメント業務 財務情報および統計データ	7
投資運用業務 損益計算書情報、財務指標および比率	8
投資運用業務 財務情報および統計データ	9
連結ベースのローンおよび貸付コミットメント	10
連結ベースのローンおよび貸付コミットメントに係る信用損失引当金	11
米国GAAP指標と非GAAP指標の定義	12
業績指標および用語の定義	13 - 14
定量的情報・算定に関する補足資料	15 - 16
法的通知	17

## モルガン・スタンレー

### 連結財務概要

(無監査、単位:百万ドル)

	四半期			増減率		9か月間			増減率
	2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間		
<b>純収益</b>									
法人・機関投資家向け証券業務	\$ 8,523	\$ 7,643	\$ 6,815	12%	25%	\$ 25,149	\$ 20,813	21%	
ウェルス・マネジメント業務	8,234	7,764	7,270	6%	13%	23,325	20,942	11%	
投資運用業務	1,651	1,552	1,455	6%	13%	4,805	4,218	14%	
セグメント間消去	(184)	(167)	(157)	(10%)	(17%)	(524)	(435)	(20%)	
純収益 <sup>(1)</sup>	<u>\$ 18,224</u>	<u>\$ 16,792</u>	<u>\$ 15,383</u>	9%	18%	<u>\$ 52,755</u>	<u>\$ 45,538</u>	16%	
信用損失引当金線入額	\$ -	\$ 196	\$ 79	*	*	\$ 331	\$ 149	122%	
<b>非金利費用</b>									
法人・機関投資家向け証券業務	\$ 5,340	\$ 5,364	\$ 4,836	-%	10%	\$ 16,315	\$ 14,381	13%	
ウェルス・マネジメント業務	5,736	5,536	5,199	4%	10%	16,604	15,230	9%	
投資運用業務	1,287	1,229	1,195	5%	8%	3,795	3,495	9%	
セグメント間消去	(167)	(155)	(147)	(8%)	(14%)	(484)	(407)	(19%)	
非金利費用 <sup>(1)(2)</sup>	<u>\$ 12,196</u>	<u>\$ 11,974</u>	<u>\$ 11,083</u>	2%	10%	<u>\$ 36,230</u>	<u>\$ 32,699</u>	11%	
<b>法人所得税計上利</b>									
法人・機関投資家向け証券業務	\$ 3,182	\$ 2,111	\$ 1,911	51%	67%	\$ 8,574	\$ 6,308	36%	
ウェルス・マネジメント業務	2,499	2,200	2,060	14%	21%	6,650	5,687	17%	
投資運用業務	364	323	260	13%	40%	1,010	723	40%	
セグメント間消去	(17)	(12)	(10)	(42%)	(70%)	(40)	(28)	(43%)	
法人所得税計上利	<u>\$ 6,028</u>	<u>\$ 4,622</u>	<u>\$ 4,221</u>	30%	43%	<u>\$ 16,194</u>	<u>\$ 12,690</u>	28%	
<b>モルガン・スタンレーに帰属する純利益</b>									
法人・機関投資家向け証券業務	\$ 2,468	\$ 1,604	\$ 1,436	54%	72%	\$ 6,601	\$ 4,775	38%	
ウェルス・マネジメント業務	1,889	1,700	1,568	11%	20%	5,121	4,374	17%	
投資運用業務	266	245	192	9%	39%	773	549	41%	
セグメント間消去	(13)	(10)	(8)	(30%)	(63%)	(31)	(22)	(41%)	
モルガン・スタンレーに帰属する純利益	<u>\$ 4,610</u>	<u>\$ 3,539</u>	<u>\$ 3,188</u>	30%	45%	<u>\$ 12,464</u>	<u>\$ 9,676</u>	29%	
モルガン・スタンレーの普通株主に帰属する利益	<u>\$ 4,450</u>	<u>\$ 3,392</u>	<u>\$ 3,028</u>	31%	47%	<u>\$ 11,999</u>	<u>\$ 9,236</u>	30%	

注 :

一級延現金報酬制度（以下「DCP」という。）に係る時価評価損益を除く全社の純収益は、非GAAP財務指標であり、2025年度第3四半期：17,976百万ドル、2025年度第2四半期：16,415百万ドル、2024年度第3四半期：15,144百万ドル、2025年9月30日をもって終了した9か月間：52,279百万ドル、2024年9月30日をもって終了した9か月間：45,166百万ドルであった。

DCPを除く全社の報酬費用は、非GAAP財務指標であり、2025年度第3四半期：7,142百万ドル、2025年度第2四半期：6,819百万ドル、2024年度第3四半期：6,457百万ドル、2025年9月30日をもって終了した9か月間：21,484百万ドル、2024年9月30日をもって終了した9か月間：19,309百万ドルであった。

後注は本情報の不可欠な一部である。米国GAAP指標と非GAAP指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17ページを参照。

## モルガン・スタンレー

### 連結財務指標および比率ならびに統計データ (無監査)

四半期			増減率		9か月間		
2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	増減率

#### 財務指標:

基本的1株当たり利益	\$ 2.83	\$ 2.15	\$ 1.91	32%	48%	\$ 7.61	\$ 5.79	31%
希薄化後1株当たり利益	\$ 2.80	\$ 2.13	\$ 1.88	31%	49%	\$ 7.53	\$ 5.73	31%
平均普通株主資本利益率	18.0%	13.9%	13.1%			16.5%	13.5%	
平均有形普通株主資本利益率	23.5%	18.2%	17.5%			21.6%	18.2%	
普通株式1株当たり純資産	\$ 62.98	\$ 61.59	\$ 58.25			\$ 62.98	\$ 58.25	
普通株式1株当たり有形純資産	\$ 48.64	\$ 47.25	\$ 43.76			\$ 48.64	\$ 43.76	

#### 財務比率:

税引前利益率	33%	28%	27%		31%	28%
純収益に占める人件費の比率	41%	43%	44%		42%	44%
純収益に占める人件費以外の費用の比率	26%	28%	28%		27%	28%
全社の費用効率性比率 <sup>(1)</sup>	67%	71%	72%		69%	72%
実効税率	22.8%	22.7%	23.6%		22.2%	22.7%

#### 統計データ:

期末流通普通株式数(単位:百万株)	1,591	1,598	1,612	-%	(1%)		
平均流通普通株式数(単位:百万株)							
基本的	1,571	1,577	1,588	-%	(1%)	1,577	1,594
希薄化後	1,590	1,593	1,609	-%	(1%)	1,594	1,612
全世界従業員数	82,398	80,393	80,205	2%	3%		

後注は本情報の不可欠な一部である。米国GAAP指標と非GAAP指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17ページを参照。

モルガン・スタンレー

連結ベースおよび米国銀行の補足財務情報  
(無監査、単位:百万ドル)

四半期			増減率		9か月間		
2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	増減率

連結貸借対照表

資産合計	\$ 1,364,806	\$ 1,353,870	\$ 1,258,027	1%	8%			
ローン <sup>(1)</sup>	\$ 277,307	\$ 267,395	\$ 239,760	4%	16%			
預金	\$ 405,480	\$ 389,377	\$ 363,722	4%	11%			
長期債務残高	\$ 324,128	\$ 320,127	\$ 291,224	1%	11%			
長期債務残高の満期到来分 (今後 12 か月以内)	\$ 25,439	\$ 23,784	\$ 25,097	7%	1%			
平均流動性資金	\$ 368,090	\$ 363,389	\$ 342,620	1%	7%			
普通株主資本	\$ 100,212	\$ 98,434	\$ 93,897	2%	7%			
控除: のれんおよび無形資産	(22,820)	(22,917)	(23,354)	-%	(2%)			
有形普通株主資本	<u>\$ 77,392</u>	<u>\$ 75,517</u>	<u>\$ 70,543</u>	2%	10%			
優先株主資本	\$ 9,750	\$ 9,750	\$ 9,750	-%	-%			
<b>米国銀行の補足財務情報</b>								
資産合計	\$ 471,733	\$ 450,798	\$ 420,923	5%	12%			
ローン	\$ 263,296	\$ 252,242	\$ 224,276	4%	17%			
投資有価証券ポートフォリオ <sup>(2)</sup>	\$ 132,627	\$ 131,802	\$ 124,551	1%	6%			
預金	\$ 397,927	\$ 382,580	\$ 357,548	4%	11%			
<b>地域別収益</b>								
米州	\$ 13,663	\$ 12,347	\$ 11,557	11%	18%	\$ 39,113	\$ 34,392	14%
EMEA(欧州、中東、アフリカ)	1,939	2,142	1,828	(9%)	6%	6,372	5,525	15%
アジア	2,622	2,303	1,998	14%	31%	7,270	5,621	29%
連結純収益	<u>\$ 18,224</u>	<u>\$ 16,792</u>	<u>\$ 15,383</u>	9%	18%	<u>\$ 52,755</u>	<u>\$ 45,538</u>	16%

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

**モルガン・スタンレー**

**連結平均普通株主資本および規制自己資本に関する情報**  
(無監査、単位:十億ドル)

	四半期			増減率		9か月間			
	2025年 9月30日	2025年 6月30日	2024年 9月30日	2025年 6月30日	2024年 9月30日	2025年 9月30日	2024年 9月30日		
	をもって 終了した 四半期	をもって 終了した 四半期	をもって 終了した 四半期	からの 増減率	からの 増減率	終了した 9か月間	終了した 9か月間	増減率	
<b>平均普通株主資本</b>									
法人・機関投資家向け証券業務	\$ 48.4	\$ 48.4	\$ 45.0	-%	8%	\$ 48.4	\$ 45.0	8%	
ウェルス・マネジメント業務	29.4	29.4	29.1	-%	1%	29.4	29.1	1%	
投資運用業務	10.6	10.6	10.8	-%	(2%)	10.6	10.8	(2%)	
親会社	10.3	9.1	7.8	13%	32%	8.7	6.1	43%	
全社	<u>\$ 98.7</u>	<u>\$ 97.5</u>	<u>\$ 92.7</u>	1%	6%	<u>\$ 97.1</u>	<u>\$ 91.0</u>	7%	
<b>規制自己資本</b>									
普通株式等 Tier 1 自己資本	\$ 81.3	\$ 78.7	\$ 73.9	3%	10%				
Tier 1 自己資本	\$ 90.9	\$ 88.4	\$ 83.7	3%	9%				
<b>標準的手法</b>									
リスク加重資産	\$ 536.0	\$ 523.3	\$ 490.3	2%	9%				
普通株式等 Tier 1 自己資本比率	15.2%	15.0%	15.1%						
Tier 1 自己資本比率	17.0%	16.9%	17.1%						
<b>先進的手法</b>									
リスク加重資産	\$ 516.3	\$ 502.6	\$ 495.0	3%	4%				
普通株式等 Tier 1 自己資本比率	15.7%	15.7%	14.9%						
Tier 1 自己資本比率	17.6%	17.6%	16.9%						
<b>レバレッジ・ベース自己資本</b>									
Tier 1 レバレッジ比率	6.8%	6.8%	6.9%						
補完的レバレッジ比率	5.5%	5.5%	5.5%						

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

モルガン・スタンレー

法人・機関投資家向け証券業務  
損益計算書情報、財務指標および比率  
(無監査、単位:百万ドル)

	四半期			増減率		9か月間			
	2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	増減率	
<b>収益:</b>									
アドバイザリー業務	\$ 684	\$ 508	\$ 546	35%	25%	\$ 1,755	\$ 1,599	10%	
株式	652	500	362	30%	80%	1,471	1,144	29%	
債券	772	532	555	45%	39%	1,981	1,786	11%	
引受業務	1,424	1,032	917	38%	55%	3,452	2,930	18%	
投資銀行業務	2,108	1,540	1,463	37%	44%	5,207	4,529	15%	
株式	4,116	3,721	3,045	11%	35%	11,965	8,905	34%	
債券	2,169	2,180	2,003	(1%)	8%	6,953	6,487	7%	
その他	130	202	304	(36%)	(57%)	1,024	892	15%	
<b>純収益</b>	<b>8,523</b>	<b>7,643</b>	<b>6,815</b>	<b>12%</b>	<b>25%</b>	<b>25,149</b>	<b>20,813</b>	<b>21%</b>	
信用損失引当金繰入額	1	168	68	(99%)	(99%)	260	124	110%	
人件費	2,422	2,430	2,271	-%	7%	7,706	6,905	12%	
人件費以外の費用	2,918	2,934	2,565	(1%)	14%	8,609	7,476	15%	
非金利費用合計	5,340	5,364	4,836	-%	10%	16,315	14,381	13%	
法人所得税計上前利益	3,182	2,111	1,911	51%	67%	8,574	6,308	36%	
モルガン・スタンレーに帰属する純利益	<b>\$ 2,468</b>	<b>\$ 1,604</b>	<b>\$ 1,436</b>	<b>54%</b>	<b>72%</b>	<b>\$ 6,601</b>	<b>\$ 4,775</b>	<b>38%</b>	
税引前利益率	37%	28%	28%			34%	30%		
純収益に占める人件費の比率	28%	32%	33%			31%	33%		
純収益に占める人件費以外の費用の比率	34%	38%	38%			34%	36%		
平均普通株主資本利益率	19%	12%	12%			17%	13%		
平均有形普通株主資本利益率 <sup>(1)</sup>	20%	12%	12%			17%	13%		
トレーディングの VaR(95%/保有期間 1 日の日次平均 VaR)	\$ 59	\$ 50	\$ 46						

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

**モルガン・スタンレー**

**ウェ尔斯・マネジメント業務**

**損益計算書情報、財務指標および比率  
(無監査、単位:百万ドル)**

	四半期			増減率		9か月間			
	2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	増減率	
<b>収益:</b>									
資産運用手数料収益	\$ 4,789	\$ 4,411	\$ 4,266	9%	12%	\$ 13,596	\$ 12,084	13%	
取引収益	1,308	1,264	1,076	3%	22%	3,445	2,891	19%	
純利息収益	1,991	1,910	1,774	4%	12%	5,803	5,428	7%	
その他	146	179	154	(18%)	(5%)	481	539	(11%)	
純収益 <sup>(1)</sup>	<u>8,234</u>	<u>7,764</u>	<u>7,270</u>	6%	13%	<u>23,325</u>	<u>20,942</u>	11%	
信用損失引当金繰入額	(1)	28	11	*	*	71	25	184%	
人件費 <sup>(1)</sup>	4,388	4,147	3,868	6%	13%	12,534	11,257	11%	
人件費以外の費用	1,348	1,389	1,331	(3%)	1%	4,070	3,973	2%	
非金利費用合計	<u>5,736</u>	<u>5,536</u>	<u>5,199</u>	4%	10%	<u>16,604</u>	<u>15,230</u>	9%	
法人所得税計上前利益	2,499	2,200	2,060	14%	21%	6,650	5,687	17%	
モルガン・スタンレーに帰属する純利益	<u>\$ 1,889</u>	<u>\$ 1,700</u>	<u>\$ 1,568</u>	11%	20%	<u>\$ 5,121</u>	<u>\$ 4,374</u>	17%	
税引前利益率	30%	28%	28%			29%	27%		
純収益に占める人件費の比率	53%	53%	53%			54%	54%		
純収益に占める人件費以外の費用の比率	16%	18%	18%			17%	19%		
平均普通株主資本利益率	25%	23%	21%			23%	19%		
平均有形普通株主資本利益率 <sup>(2)</sup>	45%	41%	39%			41%	37%		

注 :

—DCP を除くウェ尔斯・マネジメント業務の純収益は、非 GAAP 財務指標であり、2025 年度第 3 四半期 : 8,028 百万ドル、2025 年度第 2 四半期 : 7,470 百万ドル、2024 年度第 3 四半期 : 7,100 百万ドル、2025 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間 : 22,956 百万ドル、2024 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間 : 20,677 百万ドルであった。

—DCP を除くウェ尔斯・マネジメント業務の報酬費用は、非 GAAP 財務指標であり、2025 年度第 3 四半期 : 4,166 百万ドル、2025 年度第 2 四半期 : 3,883 百万ドル、2024 年度第 3 四半期 : 3,684 百万ドル、2025 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間 : 12,065 百万ドル、2024 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間 : 10,884 百万ドルであった。

—後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

## モルガン・スタンレー

ウェルス・マネジメント業務  
財務情報および統計データ  
(無監査、単位:十億ドル)

四半期			増減率	
2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率

### ウェルス・マネジメント業務の指標

顧客資産合計	\$ 7,054	\$ 6,492	\$ 5,974	9%	18%
純新規資産	\$ 81.0	\$ 59.2	\$ 63.9	37%	27%
米国銀行のローン	\$ 173.9	\$ 168.9	\$ 155.2	3%	12%
信用取引その他の貸付 <sup>(1)</sup>	\$ 27.9	\$ 25.9	\$ 25.7	8%	9%
預金 <sup>(2)</sup>	\$ 398	\$ 383	\$ 358	4%	11%
預金の年率加重平均コスト					
期末	2.72%	2.83%	2.99%		
期中平均	2.88%	2.81%	3.19%		

### アドバイザー主導チャネル

アドバイザー主導顧客資産	\$ 5,414	\$ 5,043	\$ 4,647	7%	17%
手数料ベースの顧客資産	\$ 2,653	\$ 2,478	\$ 2,302	7%	15%
手数料ベース資産の流入出	\$ 41.9	\$ 42.8	\$ 35.7	(2%)	17%
アドバイザー主導顧客資産に占める 手数料ベース資産の割合	49%	49%	50%		

### 自己主導チャネル

自己主導顧客資産	\$ 1,639	\$ 1,449	\$ 1,327	13%	24%
日次平均収益取引(単位:千)	1,012	983	815	3%	24%
自己主導世帯数(単位:百万)	8.4	8.4	8.2	-%	2%

### 勤務先チャネル

株式報酬制度の権利未確定資産	\$ 534	\$ 491	\$ 461	9%	16%
株式報酬制度加入者数(百万人) <sup>(3)</sup>	6.6	6.7	6.7	(1%)	(1%)

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

**モルガン・スタンレー**

**投資運用業務**

**損益計算書情報、財務指標および比率**

(無監査、単位:百万ドル)

	四半期			増減率		9か月間		
	2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	増減率
<b>収益:</b>								
資産運用および関連手数料	\$ 1,534	\$ 1,434	\$ 1,384	7%	11%	\$ 4,419	\$ 4,072	9%
実績収益およびその他	117	118	71	(1%)	65%	386	146	164%
純収益	<u>1,651</u>	<u>1,552</u>	<u>1,455</u>	6%	13%	<u>4,805</u>	<u>4,218</u>	14%
人件費	632	613	594	3%	6%	1,913	1,727	11%
人件費以外の費用	655	616	601	6%	9%	1,882	1,768	6%
非金利費用合計	<u>1,287</u>	<u>1,229</u>	<u>1,195</u>	5%	8%	<u>3,795</u>	<u>3,495</u>	9%
法人所得税計上前利益	364	323	260	13%	40%	1,010	723	40%
モルガン・スタンレーに帰属する純利益	<u>\$ 266</u>	<u>\$ 245</u>	<u>\$ 192</u>	9%	39%	<u>\$ 773</u>	<u>\$ 549</u>	41%
税引前利益率	22%	21%	18%			21%	17%	
純収益に占める人件費の比率	38%	39%	41%			40%	41%	
純収益に占める人件費以外の費用の比率	40%	40%	41%			39%	42%	
平均普通株主資本利益率	10%	9%	7%			10%	7%	
平均有形普通株主資本利益率 <sup>(1)</sup>	105%	97%	68%			102%	65%	

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

## モルガン・スタンレー

### 投資運用業務

財務情報および統計データ  
(無監査、単位:十億ドル)

四半期			増減率		9か月間		
2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率	2025年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	2024年 9月30日 をもって 終了した 9か月間	増減率

### 運用・管理資産(AUM)

#### 資産クラス別の純流出入

株式	\$ (6.1)	\$ (2.8)	\$ (5.6)	(118%)	(9%)	\$ (13.6)	\$ (20.3)	33%
債券	8.4	6.8	4.4	24%	91%	18.2	8.2	122%
オルタナティブおよびソリューション	14.2	6.8	8.5	109%	67%	28.1	25.8	9%
長期純流出入	16.5	10.8	7.3	53%	126%	32.7	13.7	139%
流動性およびオーバーレイ・サービス	24.8	(27.3)	9.3	*	167%	(21.5)	(2.3)	*
<b>純流出入合計</b>	<b>\$ 41.3</b>	<b>\$ (16.5)</b>	<b>\$ 16.6</b>	*	149%	<b>\$ 11.2</b>	<b>\$ 11.4</b>	(2%)

#### 資産クラス別の運用・管理資産

株式	\$ 329	\$ 327	\$ 316	1%	4%
債券	224	212	188	6%	19%
オルタナティブおよびソリューション	683	636	591	7%	16%
長期運用・管理資産	1,236	1,175	1,095	5%	13%
流動性およびオーバーレイ・サービス	571	538	503	6%	14%
<b>運用・管理資産合計</b>	<b>\$ 1,807</b>	<b>\$ 1,713</b>	<b>\$ 1,598</b>	5%	13%

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

**モルガン・スタンレー**

**連結ベースのローンおよび貸付コミットメント  
(無監査、単位:十億ドル)**

	四半期			増減率	
	2025年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 をもって 終了した 四半期	2024年 9月30日 をもって 終了した 四半期	2025年 6月30日 からの 増減率	2024年 9月30日 からの 増減率
<b>法人・機関投資家向け証券業務</b>					
ローン:					
企業向け	\$ 15.9	\$ 15.1	\$ 15.2	5%	5%
担保付貸付枠	66.1	62.4	49.2	6%	34%
商業用および住宅用不動産	12.2	12.1	11.8	1%	3%
有価証券に基づく貸付およびその他	9.2	8.8	7.8	5%	18%
<b>ローン合計</b>	<b>103.4</b>	<b>98.4</b>	<b>84.0</b>	<b>5%</b>	<b>23%</b>
<b>貸付コミットメント</b>	<b>183.7</b>	<b>165.4</b>	<b>151.9</b>	<b>11%</b>	<b>21%</b>
<b>法人・機関投資家向け証券業務のローンおよび 貸付コミットメント</b>	<b><u>\$ 287.1</u></b>	<b><u>\$ 263.8</u></b>	<b><u>\$ 235.9</u></b>	<b>9%</b>	<b>22%</b>
<b>ウェルス・マネジメント業務</b>					
ローン:					
有価証券に基づく貸付およびその他	\$ 103.1	\$ 99.8	\$ 90.4	3%	14%
住宅用不動産	70.8	69.1	64.9	2%	9%
<b>ローン合計</b>	<b>173.9</b>	<b>168.9</b>	<b>155.3</b>	<b>3%</b>	<b>12%</b>
<b>貸付コミットメント</b>	<b>18.4</b>	<b>19.5</b>	<b>18.4</b>	<b>(6%)</b>	<b>-%</b>
<b>ウェルス・マネジメント業務のローンおよび貸付 コミットメント</b>	<b><u>\$ 192.3</u></b>	<b><u>\$ 188.4</u></b>	<b><u>\$ 173.7</u></b>	<b>2%</b>	<b>11%</b>
<b>連結ベースのローンおよび貸付コミットメント<sup>(1)</sup></b>	<b><u>\$ 479.4</u></b>	<b><u>\$ 452.2</u></b>	<b><u>\$ 409.6</u></b>	<b>6%</b>	<b>17%</b>

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

**モルガン・スタンレー**

**連結ベースのローンおよび貸付コミットメント**  
**2025年9月30日現在の信用損失引当金(ACL)**  
 (無監査、単位：百万ドル)

	<b>ローンおよび 貸付コミット メント (総額)</b>	<b>信用損失 引当金<sup>(1)</sup></b>	<b>信用損失引当金 %</b>	<b>第3四半期 引当金繰入額</b>
<b>ローン：</b>				
<b>投資目的保有(HFI)</b>				
企業向け	\$ 7,839	\$ 239	3.0%	\$ (22)
担保付貸付枠	63,610	200	0.3%	25
商業用および住宅用不動産	7,853	364	4.6%	3
その他	3,486	19	0.5%	(1)
<b>法人・機関投資家向け証券業務 - 投資目的保有</b>	<b>\$ 82,788</b>	<b>\$ 822</b>	<b>1.0%</b>	<b>\$ 5</b>
ウェルス・マネジメント - 投資目的保有	174,288	391	0.2%	1
<b>投資目的保有</b>	<b>\$ 257,076</b>	<b>\$ 1,213</b>	<b>0.5%</b>	<b>\$ 6</b>
売却目的保有	11,433			
公正価値	9,962			
<b>ローン合計</b>	<b>278,471</b>	<b>1,213</b>		<b>6</b>
<b>貸付コミットメント</b>	<b>202,141</b>	<b>784</b>	<b>0.4%</b>	<b>(6)</b>
<b>連結ベースのローンおよび貸付コミットメント</b>	<b>\$ 480,612</b>	<b>\$ 1,997</b>		<b>\$ -</b>

後注は本情報の不可欠な一部である。米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義、業績指標および用語の定義、定量的情報・算定に関する補足資料ならびに法的通知に関しては、12-17 ページを参照。

## 後注

## 米国 GAAP 指標と非 GAAP 指標の定義

- (a) 当社は、米国において一般に公正妥当と認められる会計原則（以下「米国 GAAP」という。）を適用して連結財務諸表を作成している。当社は、本書において、また、決算リリース、決算およびその他の電話会議、財務情報の表示、最終委任状説明書、ならびにその他の公的開示において、一定の「非 GAAP 財務指標」を開示する場合がある。「非 GAAP 貢務指標」とは、米国 GAAP に準拠して算定および表示された最も直接的に比較可能な指標から金額を除外または算入調整したものである。当社は、当社が開示する非 GAAP 貢務指標は、当社の財政状態、経営成績および自己資本の透明性を一層高めるため、またその評価や比較を行う代替的な手段を提供するため、当社、投資家、アナリスト、およびその他の利害関係者にとって有益であると考えている。これらの指標は米国 GAAP に準拠したものまたは米国 GAAP に代替するものではなく、他社が使用している非 GAAP 貢務指標と異なる場合や整合しない場合がある。当社が非 GAAP 貢務指標に言及する場合は、当社は通常、それを定義するか、米国 GAAP に準拠して算定および表示される最も直接的に比較可能な財務指標を提示するとともに、米国 GAAP 貢務指標と非 GAAP 貢務指標との差異の調整も提示している。当社は、DCP 投資に係る時価評価損益の影響を純収益および報酬費用から除外した一定の非 GAAP 貢務指標を表示している。DCP の影響は主に、ウェルス・マネジメント業務セグメントの業績に反映されている。これらの指標により、特にウェルス・マネジメント業務セグメントにおける、基礎となる業績および収益の趨勢の期間毎の比較可能性を高めることができる。これらの項目の影響を除外することで、当社は、事業の推進要因、ならびにそれに伴う純収益への影響および関連する報酬費用の対応する変動をより明確に説明することができる。詳細については、2024 年度様式 10-K の「経営者による財政状態および経営成績の検討および分析－エグゼクティブ・サマリー」を参照。
- (b) 以下は、非 GAAP 貢務指標とみなされている。
- ー 有形普通株主資本は、のれんおよび無形資産（算入が認められるモーゲージ・サービシング権を控除後）を除外した普通株主資本を表している。加えて、当社は、平均有形普通株主資本利益率（以下「ROTCE」という。）および普通株式 1 株当たり有形純資産（これらも非 GAAP 貢務指標である。）等の有形普通株主資本を利用した一定の比率は、期間毎の事業の業績および自己資本の評価にそれぞれ有益であると考えている。
  - ー ROTCE は、モルガン・スタンレーの普通株主に帰属する年換算した利益の、平均有形普通株主資本に対する比率を表している。
  - ー 普通株式 1 株当たり有形純資産は、有形普通株主資本を流通普通株式数で除したものを表している。
  - ー セグメントの平均普通株主資本利益率および平均有形普通株主資本利益率は、セグメント別のモルガン・スタンレーに帰属する純利益（各セグメントへの優先配当金の配分額を控除後）を、それぞれ各セグメントに配分された平均普通株主資本および平均有形普通株主資本に対する比率として年率換算したものである。事業セグメントに配分される資本の金額は、通常は各年度の期首に決定され、重要な事業上の変更（例えば、事業の取得または処分）が生じた場合を除き、次の年次改定時まで当該年度を通じて固定される。
  - ー 純収益（DCP を除く）は、一定の従業員報酬制度に関連した経済的ヘッジに係る時価評価損益の影響について調整後の純収益を表している。
  - ー 報酬費用（DCP を除く）は、投資パフォーマンスに連動した一定の従業員報酬制度に関連した影響について調整後の報酬を表している。

## モルガン・スタンレー

---

### 後注

#### 業績指標および用語の定義

当社の決算リリース、決算電話会議、財務情報の表示およびその他のコミュニケーションには、当社の財政状態および経営成績の透明性を高め、またその評価を行う代替的な手段を提供することから当社、投資家、アナリストおよびその他利害関係者にとって有用であると当社が考える一定の指標も含まれる場合がある。

##### 1ページ：

- (a) 信用損失引当金繰入額は、投資目的保有のローンおよび未実行貸付コミットメントに対する信用損失引当金繰入額を示している。
- (b) モルガン・スタンレーに帰属する純利益は、純利益から償還不能非支配持分に帰属する純利益を控除した金額である。
- (c) モルガン・スタンレーの普通株主に帰属する利益は、モルガン・スタンレーに帰属する純利益から優先配当金を控除した金額である。

##### 2ページ：

- (a) 平均普通株主資本利益率は、モルган・スタンレーの普通株主に帰属する年換算した利益の、平均普通株主資本に対する比率を表している。
- (b) 平均有形普通株主資本利益率は、非 GAAP 財務指標である。
- (c) 普通株式 1 株当たり純資産は、普通株主資本を期末流通普通株式数で除したものを表している。
- (d) 普通株式 1 株当たり有形純資産は、非 GAAP 財務指標である。
- (e) 税引前利益率は、純収益に対する法人所得税計上利潤の比率を表している。
- (f) 全社の費用効率性比率は、純収益に対する非金利費用合計の比率を表している。

##### 3ページ：

- (a) 親会社およびその主要な事業子会社が主に保有する流動性資金は、適格流動資産（以下「HQLA」という。）および銀行預け金から構成されている。当社は、流動性資金の合計金額を、無担保債務の満期プロファイル、貸借対照表の規模および構成、偶発的なキャッシュ・アウトフローを含むストレス環境下での資金需要、法人、地域およびセグメントごとの流動性要件、規制上の要求事項ならびに担保要件といった要素を考慮したうえで、積極的に管理している。平均流動性資金は、2025 年 9 月 30 日、2025 年 6 月 30 日および 2024 年 9 月 30 日をもって終了した 3 か月間の平均日次残高を表している。
- (b) 当社の有形普通株主資本の計算に使用されるのれんおよび無形資産の残高は、算入が認められるモーゲージ・サービシング権を控除後のものである。
- (c) 有形普通株主資本は、非 GAAP 財務指標である。
- (d) 米国銀行は、当社の米国銀行子会社であるモルガン・スタンレー・バンク・エヌ・エイおよびモルガン・スタンレー・プライベート・バンク・ナショナル・アソシエーションを指しており、銀行子会社間の取引ならびに親会社および関係会社からの預金は除いている。
- (e) 当社全体の地域別収益は、当社の管理ベースの連結純収益を反映している。純収益の地域別の分析方法の詳細については、当社の 2024 年度様式 10-K に記載する連結財務諸表に対する注記 22 に開示している。

##### 4ページ：

- (a) 当社による平均普通株主資本の事業セグメントへの配分は、社内の自己資本の測定尺度である所要自己資本の枠組みに基づいています。この枠組みは、リスク・ベースおよびレバレッジ・ベースの自己資本の測定尺度であり、該当する場合、ある時点でのストレス事象による潜在的損失を負担した後に当社が継続企業資本の金額を維持することを確保するため、当社の規制上の自己資本と比較される。事業セグメントに配分される資本の金額は、通常は各年度の期首に決定され、重要な事業上の変更（例えば、事業の取得または処分）が生じた場合を除き、次の年次改定時まで当該年度を通じて固定される。当社は、平均普通株主資本の合計と、事業セグメントに配分された平均普通株主資本の合計との差額を親会社普通株主資本と定義している。所要自己資本の枠組みは、当社の自己資本の規制上の要求事項に基づいています。当社は、変化する規制上の要求事項による影響について、必要に応じて、所要自己資本の枠組みの評価を続けている。当該枠組みの詳細については、当社の 2024 年度様式 10-K の「経営者による財政状態および経営成績の検討および分析－流動性および資本の源泉－規制上の要求事項」を参照。
- (b) 当社のリスク・ベース自己資本比率は、(i) 信用リスクおよび市場リスクのリスク加重資産（以下「RWA」という。）を計算する標準的手法（以下「標準的手法」という。）および(ii) 信用リスク、市場リスクおよびオペレーション・リスクの RWA の計算に適用される先進的手法（以下「先進的手法」という。）の各手法に基づき計算されています。規制自己資本および比率の計算ならびに関連する規制上の要求事項の詳細については、当社の 2024 年度様式 10-K の「経営者による財政状態および経営成績の検討および分析－流動性および資本の源泉－規制上の要求事項」を参照。
- (c) 補完的レバレッジ比率は、Tier1 自己資本を、補完的レバレッジ・エクスポージャー全額で除したものに相当する。

##### 5ページ：

- (a) 法人・機関投資家向け証券業務の株式および債券の純収益には、トレーディング、純利息収益（受取利息から支払利息を差し引いた金額）、資産運用業務、委託手数料、投資およびこれらの事業に直接起因するその他の収益が含まれている。
- (b) 税引前利益率は、純収益に対する法人所得税計上利潤の比率を表している。
- (c) VaR は、過去に観測された市場リスク要因の動向に基づいて、ポートフォリオを 1 日保有した場合に、5% の頻度（すなわち、100 取引日に 5 回）で超えたであろう、ポートフォリオの価値における未実現損失を表す。VaR の計算方法および当社の VaR の手法の限界に関する詳細については、当社の 2024 年度様式 10-K の「リスクに関する定量的および定性的情報の開示」に開示している。

##### 6ページ：

- (a) ウエルス・マネジメント・セグメントの取引収益には、投資銀行業務、トレーディングおよび委託手数料による収益が含まれている。
- (b) 純利息収益は、受取利息から支払利息を差し引いた金額である。
- (c) ウエルス・マネジメント・セグメントのその他の収益には、投資およびその他の収益が含まれている。
- (d) 税引前利益率は、純収益に対する法人所得税計上利潤の比率を表している。

後注

業績指標および用語の定義

当社の決算リリース、決算電話会議、財務情報の表示およびその他のコミュニケーションには、当社の財政状態および経営成績の透明性を高め、またその評価を行う代替的な手段を提供することから当社、投資家、アナリストおよびその他利害関係者にとって有用であると当社が考える一定の指標も含まれる場合がある。

7 ページ :

- (a) 顧客資産は、ウェルス・マネジメント業務がサービスを提供している資産を表しており、当該サービスにはファイナンシャル・アドバイザリー主導型の仲介、保管、事務管理および投資アドバイザリー・サービス、自己主導型の仲介および投資アドバイザリー・サービス、フィナンシャル・プランニングおよびウェルス・プランニングのサービス、ならびにストック・プランの管理を含む職場サービスおよび退職制度サービスが含まれる。
- (b) 純新規資産は、顧客資産の流入額（利息、配当、および資産の取得を含む）から顧客資産の流出額を差し引いたものであり、企業結合/事業分離による影響および委託手数料の影響を除外している。
- (c) 信用取引その他の貸付は、信用取引貸付契約（適格有価証券の価額を担保に顧客が借入を行うことを可能とする契約）、およびその他の貸付（非銀行事業体に係る目的自由型の有価証券担保貸付を含む）を表している。
- (d) 預金は、ウェルス・マネジメント業務の顧客預金および米国銀行子会社に係るその他の資金源を源泉とする債務を反映している。預金には、スイープ預金プログラム、貯蓄およびその他の預金ならびに定期預金が含まれている。
- (e) 預金の年率加重平均コストは、さまざまな預金商品の年率加重平均コストの合計を表している。2025年9月30日および2025年6月30日現在の数値には関連するヘッジ・デリバティブの影響が含まれている。2024年9月30日現在の数値は、関連するヘッジ・デリバティブの影響（預金コストに重要な影響を及ぼさなかった）を除外している。期末の預金コストは2025年9月30日、2025年6月30日および2024年9月30日現在の残高および金利に基づいている。期中平均は、当該期間の日次残高と金利に基づいている。
- (f) アドバイザー主導顧客資産は、ウェルス・マネジメント業務の営業員を割り当てている口座内の顧客資産を表している。
- (g) 手数料ベースの顧客資産は、サービスに対する支払が顧客口座の資産により計算される手数料を基礎とする場合の当該資産の金額を表している。
- (h) 手数料ベース資産の出入には、新規の手数料ベース資産（純額）（資産の取得を含む。）、口座振替額（純額）、配当、利息および顧客手数料が含まれるが、法人・機関投資家向けの現金管理関連活動は除かれている。手数料ベース資産の出入に含まれる流入額および流出額の説明については、2024年度様式10-Kの「手数料ベースの顧客資産」を参照。
- (i) 自己主導顧客資産は、稼働口座のうちアドバイザー主導ではないものを示している。稼働口座は25ドル以上の資産がある口座と定義されている。
- (j) 日次平均収益取引（DARTs）は、一定期間における自己主導取引件数の合計を、当該期間中の取引日の日数で除したものに相当する。
- (k) 自己主導世帯数は、自己主導資産がある稼働口座を1口座以上保有する世帯数の合計である。当社のウェルス・マネジメント業務のチャネルの1つ以上に関与する個人世帯または加入者は、それぞれのチャネルの件数に含められている。
- (l) 勤務先チャネルの資産には、企業ならびにその管理職および従業員を対象とした株式報酬ソリューションが含まれている。株式報酬制度の権利未確定資産は、期末現在の公開企業有価証券の市場価額を反映している。
- (m) 株式報酬制度加入者数は、勤務先チャネルにおいて、権利確定済および／または権利未確定の株式報酬制度資産を有する口座の合計を表している。複数の制度に口座を持つ個人については、各制度において加入者として数えられている。

8 ページ :

- (a) 資産運用および関連手数料は、資産運用および事務管理手数料、販売手数料ならびに成功報酬の形式によらない実績に基づく報酬を反映している。資産運用および関連手数料は、当社の連結損益計算書に報告されている資産運用業務を反映している。
- (b) 実績収益およびその他には、成功報酬の形式による実績に基づく報酬、投資損益、シード資金および一定の従業員報酬制度に係るヘッジ損益、純利息ならびにその他の収益が含まれている。実績収益およびその他は、当社の連結損益計算書に報告されている投資、投資銀行業務、トレーディング、純利息およびその他の収益を反映している。
- (c) 税引前利益率は、純収益に対する法人所得税計上利潤の比率を表している。

9 ページ :

- (a) 投資運用業務のオルタナティブおよびソリューションの資産クラスには、ファンド・オブ・ファンズ、不動産、プライベート・エクイティ、クレジット・ストラテジーズ、マルチ・アセット・ポートフォリオならびに分別勘定ポートフォリオにおける商品が含まれている。
- (b) 投資運用業務の純流出入には、新規の契約、投資または再投資（顧客による償還、資金投資期間後の資本払戻および再投資されていない分配金を控除後）が含まれており、約定期間から資本投資期間への資金の移行の影響は除かれる。
- (c) オーバーレイ・サービスは、パッシブ・エクスポート・ジャーナル商品を使用して、ファンドの基礎となる保有商品によって提供されるエクスポート・ジャーナルを上回る特定のポートフォリオのエクスポート・ジャーナルを取得、相殺または代替する投資戦略を反映している。
- (d) 少数株主の資産持分は、運用・管理資産合計から除外されている。少数株主の資産持分は、当社が投資を有し持分法で会計処理している第三者資産運用会社によって運用される資産に対する投資運用事業セグメントの比例持分を表している。

10 ページおよび11 ページ :

- (a) 企業向けローンにはリレーションシップ・ローンおよびイベント・ドリブン・ローンが含まれており、これらは全般的にリボルビング与信枠、ターム・ローンおよびブリッジ・ローンからなる。
- (b) 担保付貸付枠には、顧客に提供したローンが含まれており、これらは主に、住宅用不動産、商業用不動産、企業資産および金融資産を含む様々な資産を担保とするローンにより担保されている。
- (c) 有価証券に基づく貸付およびその他には、セールス＆トレーディング顧客への融資および流通市場で購入した企業向けローンが含まれている。
- (d) 法人・機関投資家向け証券業務の貸付コミットメントには、主に企業向け貸付業務が含まれている。

## モルガン・スタンレー

### 後注

#### 定量的情報・算定に関する補足資料

##### 1ページ:

(1) 以下は、DCPに関連した投資に係る時価評価損益の純収益への影響およびDCPに関連した報酬費用への影響を示している。

	2025 年度 第 3 四半期	2025 年度 第 2 四半期	2024 年度 第 3 四半期	2025 年 9 月 30 日をもって 終了した 9か月間	2024 年 9 月 30 日をもって 終了した 9か月間
純収益	\$ 18,224	\$ 16,792	\$ 15,383	\$ 52,755	\$ 45,538
DCP に係る時価評価に関する調整	(248)	(377)	(239)	(476)	(372)
調整後の純収益－非 GAAP	\$ 17,976	\$ 16,415	\$ 15,144	\$ 52,279	\$ 45,166
報酬費用	\$ 7,442	\$ 7,190	\$ 6,733	\$ 22,153	\$ 19,889
DCP に係る時価評価に関する調整	(300)	(371)	(276)	(669)	(580)
調整後の報酬費用－非 GAAP	\$ 7,142	\$ 6,819	\$ 6,457	\$ 21,484	\$ 19,309

- 總延現金報酬制度の報奨に関する報酬費用は、従業員が選択した参照投資の公正価値における変動につき調整した、付与された報奨の想定元本に基づき算定される。報酬費用は、繰り延べられた報奨の個別の各権利確定部分に関連する権利確定期間にわたり認識される。上表には、非 GAAP 指標である調整後の報酬費用が表示されている。これは、一定の総延現金報酬制度に関連して報酬費用に認識された金額を除外したものである。
- 当社は、総延現金報酬制度による一定の債務を経済的にヘッジするために、金融商品およびその他の投資に自己勘定取引として直接投資している。これらの投資の公正価値の変動（金融費用控除後）は、純収益に計上され、ウェ尔斯・マネジメント事業セグメントの取引収益に含められる。通常、参照投資の公正価値の変動から生じる報酬費用の変動は、純収益に認識される投資の公正価値の変動と相殺されるが、当社の投資に係る損益の即時の認識と、関連する報酬費用の権利確定期間にわたる総延認識との間には、一般的に期間的な差異が生じる場合がある。この期間的な差異は、いずれの個々の期間においても当社の法人所得税計上前利益にとって重要ではないものの、純収益および報酬費用に対して潜在的に重要な影響を及ぼすことから、ウェ尔斯・マネジメント事業セグメントの特定の期間における報告比率および営業指標に影響を与える可能性がある。上表には、非 GAAP 指標である調整後の純収益が表示されている。これは、一定の総延現金報酬制度に関連した投資に係る時価評価損益（金融費用控除後）に関連して純収益に認識された金額を除外したものである。

(2) 当社の費目別の非金利費用は以下のとおりである。

	2025 年度 第 3 四半期	2025 年度 第 2 四半期	2024 年度 第 3 四半期	2025 年 9 月 30 日をもって 終了した 9か月間	2024 年 9 月 30 日をもって 終了した 9か月間
人件費	\$ 7,442	\$ 7,190	\$ 6,733	\$ 22,153	\$ 19,889
人件費以外の費用：					
仲介・決済および取引手数料	1,141	1,188	1,044	3,551	2,960
情報処理および通信費	1,119	1,089	1,042	3,258	3,029
専門家役務報酬	685	711	711	2,070	2,103
事務所設備関連費用	473	459	473	1,381	1,378
マーケティングおよび事業開拓費	280	297	224	815	686
その他	1,056	1,040	856	3,002	2,654
人件費以外の費用合計 <sup>(a)</sup>	4,754	4,784	4,350	14,077	12,810
非金利費用合計	\$ 12,196	\$ 11,974	\$ 11,083	\$ 36,230	\$ 32,699

- (a) 2025 年 9 月 30 日、2025 年 6 月 30 日および 2024 年 9 月 30 日をもって終了した四半期、ならびに 2025 年および 2024 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間ににおいて、全社の業績には、FDIC の特別賦課金がそれぞれ(8)百万ドル、(3)百万ドル、(10)百万ドル、(8)百万ドルおよび 40 百万ドル含まれている。当該 FDIC の特別賦課金は、各事業セグメントの業績に以下のように報告されている：法人・機関投資家向け証券業務：2025 年度第 3 四半期：(3)百万ドル、2025 年度第 2 四半期：(1)百万ドル、2024 年度第 3 四半期：(4)百万ドル、2025 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間：(3)百万ドル、2024 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間：17 百万ドル、ウェ尔斯・マネジメント業務：2025 年度第 3 四半期：(5)百万ドル、2025 年度第 2 四半期：(2)百万ドル、2024 年度第 3 四半期：(6)百万ドル、2025 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間：(5)百万ドル、2024 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間：23 百万ドル。

##### 2ページ:

(1) 上記の後注 1 ページ(2)を参照。

##### 3ページ:

- (1) 投資目的保有ローン（引当金控除後）および売却目的保有ローンに加え、貸借対照表上トレーディング資産に含まれる公正価値で測定するローンが含まれている。
- (2) 2025 年 9 月 30 日、2025 年 6 月 30 日および 2024 年 9 月 30 日現在の米国銀行の投資有価証券ポートフォリオには、満期保有目的の投資有価証券がそれぞれ 452 億ドル、461 億ドルおよび 488 億ドル含まれていた。

##### 5ページ:

- (1) 法人・機関投資家向け証券業務の平均形普通株主資本は、のれんおよび無形資産（算入が認められるモーゲージ・サービシング権を控除後）を除外して調整した平均普通株主資本を示している。この調整額は、2025 年度第 3 四半期：457 百万ドル、2025 年度第 2 四半期：457 百万ドル、2024 年度第 3 四半期：482 百万ドル、2025 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間：457 百万ドル、2024 年 9 月 30 日をもって終了した 9 か月間：482 百万ドルである。

## モルガン・スタンレー

### 後注

#### 定量的情報・算定に関する補足資料

##### 6ページ:

(1) 以下は、DCPに関連した投資に係る時価評価損益の純収益への影響およびDCPに関連した報酬費用への影響を示している。

	2025年度 第3四半期	2025年度 第2四半期	2024年度 第3四半期	2025年9月30日 日をもって終了した9か月間	2024年9月30日 日をもって終了した9か月間
純収益	\$ 8,234	\$ 7,764	\$ 7,270	\$ 23,325	\$ 20,942
DCPに係る時価評価に関する調整	(206)	(294)	(170)	(369)	(265)
調整後の純収益—非GAAP	\$ 8,028	\$ 7,470	\$ 7,100	\$ 22,956	\$ 20,677
報酬費用	\$ 4,388	\$ 4,147	\$ 3,868	\$ 12,534	\$ 11,257
DCPに係る時価評価に関する調整	(222)	(264)	(184)	(469)	(373)
調整後の報酬費用—非GAAP	\$ 4,166	\$ 3,883	\$ 3,684	\$ 12,065	\$ 10,884

(2) ウエルス・マネジメント業務の平均有形普通株主資本は、のれんおよび無形資産（算入が認められるモーゲージ・サービシング権を控除後）を除外して調整した平均普通株主資本を示している。この調整額は、2025年度第3四半期：13,088百万ドル、2025年度第2四半期：13,088百万ドル、2024年度第3四半期：13,582百万ドル、2025年9月30日をもって終了した9か月間：13,088百万ドル、2024年9月30日をもって終了した9か月間：13,582百万ドルである。

##### 7ページ:

- (1) ウエルス・マネジメント業務のその他の貸付には、2025年9月30日、2025年6月30日および2024年9月30日をもって終了した期間において、非銀行事業体に係る目的自由型の有価証券担保貸付がそれぞれ20億ドル含まれている。
- (2) 2025年9月30日、2025年6月30日および2024年9月30日をもって終了した四半期におけるウエルス・マネジメント業務の預金の詳細は、以下のとおりである。

	2025年度 第3四半期	2025年度 第2四半期	2024年度 第3四半期
証券スイープ預金	\$ 136	\$ 133	\$ 131
その他の預金	262	250	227
預金合計	\$ 398	\$ 383	\$ 358

(3) 株式報酬制度加入者数は2025年度第3四半期において僅かに減少している。これは主に、以前に公表済みのEMEAにおける当社の株式報酬制度事業の売却によるものである。当該売却は2025年度第4四半期に完了する見込みである。

##### 8ページ:

- (1) 投資運用業務の平均有形普通株主資本は、のれんおよび無形資産（算入が認められるモーゲージ・サービシング権を控除後）を除外して調整した平均普通株主資本を示している。この調整額は、2025年度第3四半期：9,557百万ドル、2025年度第2四半期：9,557百万ドル、2024年度第3四半期：9,676百万ドル、2025年9月30日をもって終了した9か月間：9,557百万ドル、2024年9月30日をもって終了した9か月間：9,676百万ドルである。

##### 10ページ:

- (1) 投資運用業務は、2025年9月30日、2025年6月30日および2024年9月30日をもって終了した四半期において、ローン残高をそれぞれ49百万ドル、20百万ドルおよび507百万ドル反映した。

##### 11ページ:

- (1) 2025年9月30日をもって終了した四半期における、ローンおよび貸付コミットメントに係る引当金のロールフォワードは以下のとおりである。

	法人・機関投資 家向け証券業務	ウエルス・ マネジメント 業務	合計
<b>ローン</b>			
<b>信用損失引当金</b>			
期首残高、2025年6月30日	\$ 865	\$ 406	\$ 1,271
純償却額	(46)	(17)	(63)
繰入額	5	1	6
その他	(2)	1	(1)
<b>期末残高、2025年9月30日</b>	<b>\$ 822</b>	<b>\$ 391</b>	<b>\$ 1,213</b>
<b>貸付コミットメント</b>			
<b>信用損失引当金</b>			
期首残高、2025年6月30日	\$ 772	\$ 18	\$ 790
純償却額	—	—	—
繰入額	(4)	(2)	(6)
その他	1	(1)	—
<b>期末残高、2025年9月30日</b>	<b>\$ 769</b>	<b>\$ 15</b>	<b>\$ 784</b>
<b>ローンおよび貸付コミットメント</b>			
<b>信用損失引当金</b>			
期首残高、2025年6月30日	\$ 1,637	\$ 424	\$ 2,061
純償却額	(46)	(17)	(63)
繰入額	1	(1)	—
その他	(1)	—	(1)
<b>期末残高、2025年9月30日</b>	<b>\$ 1,591</b>	<b>\$ 406</b>	<b>\$ 1,997</b>

本補足財務情報は、財務、統計および事業に関連する情報、ならびに事業およびセグメントの趨勢を含んでいる。

本情報は、2025年10月15日に公表された当社の第3四半期決算プレス・リリースと合わせて読まれるべきものである。